

## 事業の基礎情報

実施主体	埼玉工業大学
事業実施地域	深谷市
共創の種類	官民共創 ・ 他分野共創（産官学共創）
他分野共創の種類	こども ・ 子育て ・ 教育 地域・移住 ・ 観光・まちづくり ・ その他（地方公共団体・交通事業者・大学(自動運転バス開発)）
共創パートナー	深谷市 ・ 埼玉工業大学 ・ 深谷観光バス株式会社
運行形態	路線バス（市コミュニティバス）
運行主体	深谷観光バス株式会社

## 取組の概要

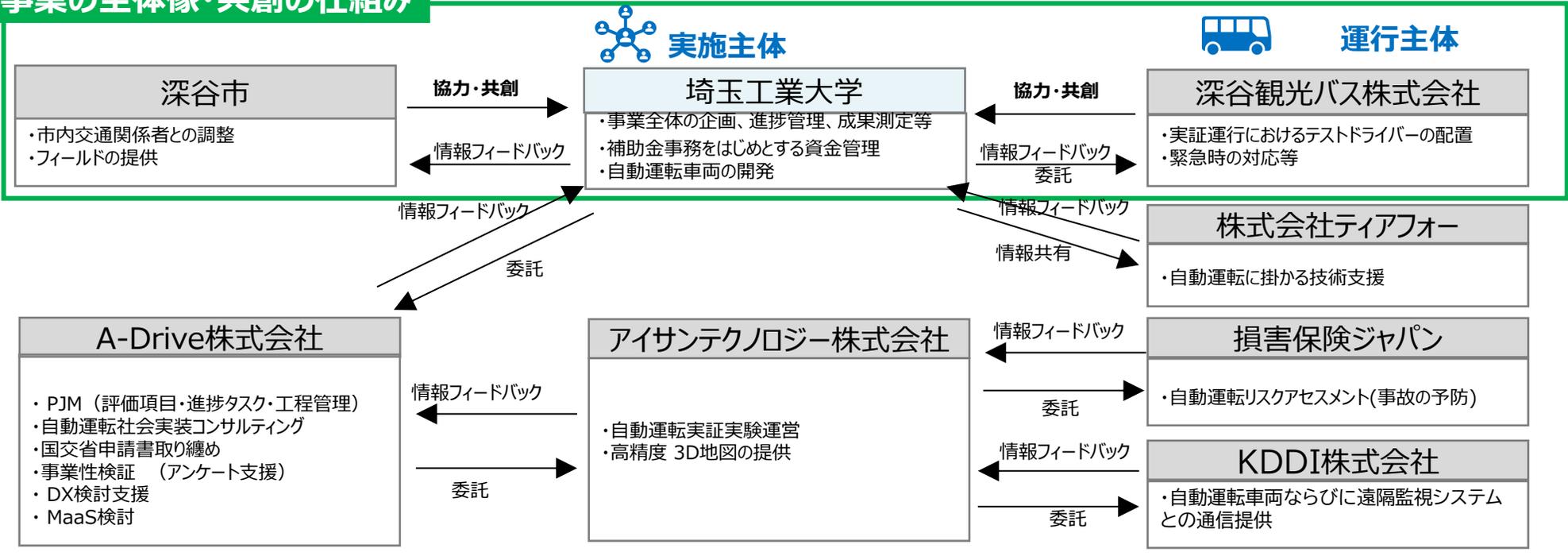
### （現状の地域課題と事業目的）

- ・郷土の偉人渋沢栄一の観光拠点が集積する市内北部地域を巡回可能な路線バスが無い。  
⇒「地域住民の足」であるコミュニティバス路線に観光等の機能を付与する『リ・デザイン』を実施。
- ・ドライバー不足を原因として市内の民間路線バス廃止、タクシー廃業が既に起こっている。  
⇒自動運転技術の導入による課題解決。

### （事業の概要）

- ・地域関係者との共創を前提とし、産学官連携による『地産地消』自動運転バスの実証運行を実施する。
- ・実証運行の結果や利用者アンケート等を通じて自動運転技術導入を含めた地域の目指すべき方向性を検証する。

## 事業の全体像・共創の仕組み



## 取組の詳細

### (地域の関係者との連携・協働)

- ・渋沢栄一観光拠点との連携【観光連携】
- ・深谷自動運転実装コンソーシアム【『地産地消の』産学官連携による自動運転】
- ・教育連携【北部地域の小中学校 (市教育委員会)】

### (実証事業により見込まれる効果)

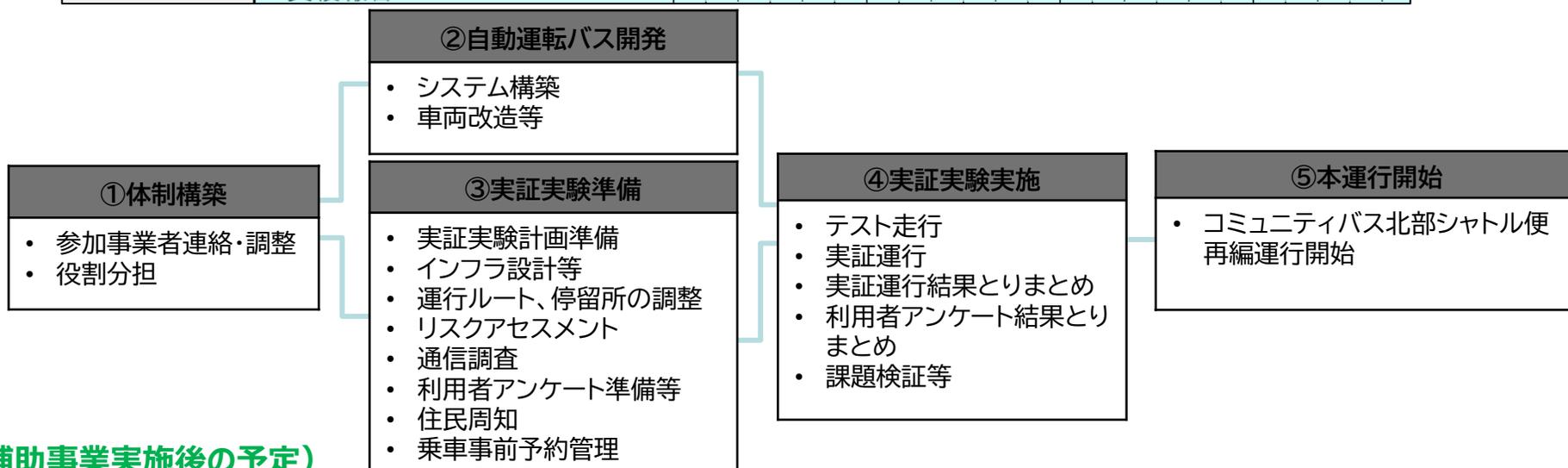
- ・北部シャトル便は、「くるりん」定時定路線4路線のうち最も乗車人数が少なく改善が必要。
- ・北部地域は主要な観光拠点 (渋沢栄一関連) が集中しており、令和6年7月の新札発行も控え観光需要の高まりが見込まれる。
- ・ドライバー不足の抜本的な解決。

⇒「コミュニティバス」「観光」など地域のニーズに合わせた多様な機能を備える『自動運転コミュニティバス』へ。

## 取組の詳細

### (事業実施手順・スケジュール)

補助事業年度のスケジュール	項目	時期												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	■ 補助金交付申請	←-----→												
	■ 関係者調整等	←-----→												
	■ 自動運転バス構築			←-----→										
	■ 実証運行準備									←-----→				
	■ 実証運行(テスト走行含め10日程度)											←--→		
	■ 利用者アンケート実施											←--→		
	■ 実績報告											←--→		



### (補助事業実施後の予定)

実証実験のベースとなる北部シャトル便については、観光資源を活かした路線再編を行うとともに、自動運転バスの早期導入を図る。路線再編については令和6年3月策定の「深谷市地域公共交通計画」にも内容・趣旨を位置づけており、実証実験の後速やかに再編本運行（令和7年4月より運行開始）への移行を予定している。